

みんなのけんきゅう

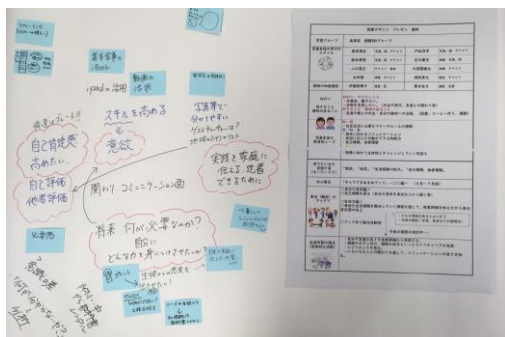


平成31年度 校内授業研究会

本校では、児童生徒が主体的に学びに向かい、生涯にわたって成長し続けるために必要な資質・能力を育む授業を計画・実践すること、授業づくりの新たな視点を得て、授業改善を図ることを目的とし、6月14日、21日、25日に校内授業研究会を行いました。今回の授業研究会に至るまでの流れと授業、授業後の研究会の様子をご紹介します。



授業デザインプレゼン会の様子から
 5月8日、(小) 図画工作、(中) 音楽、(高) 課題別学習の学習グループから授業デザインを紹介し合う、授業デザインプレゼン会を行いました。授業者が生徒の実態や教育的ニーズ、MI(長所を生かした学びのスタイル)をもとにして考案した授業デザインを職員間で共有したり、多面的な視点でアイデアを出し合ったりすることを目的として行いました。



はったり ぬったり かざったり
 ～「パブリカ」のへやをかざろう～ (小学部)



おはやしのリズムや旋律で表現を工夫しよう
 ～オリジナルソーラン節を作ろう～ (中学部)



「キャリアドリームブック」を作ろう
 ～レットトライ!生活編～ (高等部)



小学部授業研究会

- ・協議テーマ 児童のキラッと輝いた瞬間を見つけよう



小学部では、教師の「子どもを見とる力」を高めることを目的としたワークショップを行いました。児童の活動の様子をビデオで振り返り、好きな表し方や得意な表し方、造形的な見方・考え方を働かせている瞬間を探しました。同じ場面の同じ姿を見ていても、教師によって、注目する部分が異なったり、児童の活動の読み取り方、解釈の仕方が違ったりしています。様々な読み取り方・解釈の仕方を知ることを通して、教員の「子どもを見とる力」が育まれ、より適切な実態把握ができるのではないかと考えています。自分にはなかった新たな視点を、その後の授業作りに生かすことができました。

中学部授業研究会

- ・協議テーマ 音やリズムを組み合わせたたり、表現方法を工夫したりするための手立ては有効であったか。



中学部では、前半の「グループ協議」で、4つのグループに分かれて、音楽パートの取組（リコーダー、歌、太鼓、身体表現）の授業改善をはかるためのアイデアを出し合いました。後半の「公開討論」では、学部職員が円形に座って、日頃感じている疑問点や課題を研究協力者の先生方に尋ね、意見や感想をいただきました。「一人一人のやりたい思いを大切にしながらも、最後は一体感を感じてほしい」というアドバイスや「障害者の生涯学習のポイント」について共有することができました。いただいた意見をもとに、後日改善授業を行い、友達同士の評価を生かした一体感のある演奏や発表につながっています。

高等部授業研究会

- ・協議テーマ① 生徒の「問い」を引き出す授業のしかけ
- ・協議テーマ② 未来につなぐ！学び続ける生徒たちの 学習内容って何だろう？



高等部では2つの協議テーマを設定し、ワールドカフェ方式での研究会を行いました。ワールドカフェとは、カフェでくつろいでいるようなリラックスした雰囲気のもと行われる会議のことです。リラックスした雰囲気の中で対話ができるため、さまざまなアイデアや意見を出しやすく、一体感を持った対話ができるなどの効果があります。また、席替えをしてメンバーの組み合わせを変えて話し合いを続けることで、参加者全員で話し合っているような効果を得られます。本研究会においてもたくさんのアイデアが出され、生徒自身が日常生活の課題に「問い」をもち、問題解決していくプロセスが重要、学んだことを日常生活に生かすことができるようなしかけが必要などのキーワードが出されました。